

## 事後評価対象事業 河川関係の調書

事業名	吉井川特定構造物改築事業（大田原堰）	事業主体	中国地方整備局																										
所在地	岡山県和気郡和気町																												
事業概要	<p><b>事業の目的</b> 吉井川の左支川金剛川の直轄区間は特に農業用水取水用の固定堰により洪水の流下能力が劣っている。このため、特定構造物改築事業により流下能力を著しく阻害している2つの固定堰（山崎堰、大田原堰）を撤去し、可動堰として統合して改築することにより金剛川の洪水流下能力の向上を図る。</p> <p><b>事業の内容</b> ゴム引布製起伏堰1式、旧堰撤去2ヶ所、掘削112.5千m<sup>3</sup>、護岸6.4千m<sup>2</sup>、水路工1.16km、樋門2ヶ所、用地2,776m<sup>2</sup></p>																												
事業期間	平成5年度～平成10年度																												
総事業費	2,976百万円																												
事業評価の視点	費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化																												
	着手前と完成後の比較表																												
		着手前	完成後																										
	事業費（百万円）	2,290	2,976																										
	工期	H5年度～H10年度	H5年度～H10年度																										
	費用便益比	—	9.3																										
	改修に要する費用		改修の効果																										
	総事業費 28.7億円 平成13年度価値 総費用 改修期間+50年 建設費 28.7億円 維持管理費 0.7億円 残存価値 0.6億円 総費用C 28.8億円		想定年平均被害軽減期待額 11.1億円 平成13年度価値 総便益 改修完了後50年 総便益B 26.8億円																										
	費用対効果 B / C = 9.3																												
	【治水経済調査マニュアル(案) 平成12年5月版による】																												
事業の効果の発現状況																													
<ul style="list-style-type: none"> <li>撤去統合する固定堰の旧山崎堰の流下能力は490m<sup>3</sup>/s、旧大田原堰の流下能力は650m<sup>3</sup>/sと計画流量1,000m<sup>3</sup>/sに対して1/2、2/3程度と非常に低いため、計画高水流量が安全に流下できるよう可動堰化した。</li> <li>想定される事業効果 流下能力の向上</li> </ul>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>箇所</th> <th>着手前</th> <th>完成後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山崎堰</td> <td>490m<sup>3</sup>/s</td> <td rowspan="2">1,000m<sup>3</sup>/s</td> </tr> <tr> <td>大田原堰</td> <td>650m<sup>3</sup>/s</td> </tr> </tbody> </table>		箇所	着手前	完成後	山崎堰	490m <sup>3</sup> /s	1,000m <sup>3</sup> /s	大田原堰	650m <sup>3</sup> /s	想定される被害の軽減 （計画規模(1/100)洪水の場合の想定被害） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定被害軽減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床上浸水</td> <td>779戸</td> </tr> <tr> <td>床下浸水</td> <td>355戸</td> </tr> <tr> <td>浸水面積</td> <td>179ha</td> </tr> <tr> <td>一般資産額</td> <td>148.2億円</td> </tr> <tr> <td>農作物</td> <td>0.2億円</td> </tr> <tr> <td>公共土木資産</td> <td>251.0億円</td> </tr> <tr> <td>間接被害額</td> <td>13.5億円</td> </tr> <tr> <td>被害軽減額</td> <td>412.9億円</td> </tr> </tbody> </table>			想定被害軽減	床上浸水	779戸	床下浸水	355戸	浸水面積	179ha	一般資産額	148.2億円	農作物	0.2億円	公共土木資産	251.0億円	間接被害額	13.5億円	被害軽減額	412.9億円
箇所	着手前	完成後																											
山崎堰	490m <sup>3</sup> /s	1,000m <sup>3</sup> /s																											
大田原堰	650m <sup>3</sup> /s																												
	想定被害軽減																												
床上浸水	779戸																												
床下浸水	355戸																												
浸水面積	179ha																												
一般資産額	148.2億円																												
農作物	0.2億円																												
公共土木資産	251.0億円																												
間接被害額	13.5億円																												
被害軽減額	412.9億円																												

事業名	吉井川特定構造物改築事業（大田原堰）	事業主体	中国地方整備局																								
事後評価の視点	事業実施による環境の変化																										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川水辺の国勢調査結果によると、事業箇所付近の事業前の平成3～4年度の調査では、20種類の魚介類が確認されていた。事業後の平成13年度調査では34種の魚介類が確認されている。</li> </ul>																										
	改修前後の比較表																										
		調査年度	魚介	底生動物																							
	事業前	平成3～4年度	20種類	54種類																							
事業後	平成13年度	34種類	82種類																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業に合わせて「水辺の楽校」が整備され、沿川の本荘小学校等の野外学習活動等に利用されるとともに地域住民の憩いの場となっている。</li> <li>また、毎年夏には地域住民によるイベント「金剛川 こどもの夏」も行われている。</li> </ul>																											
社会経済情勢の変化																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域状況の変化</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td colspan="4">主要自治体指標（和気町）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">着手前（平成2年）</td> <td colspan="2">完成後（平成12年）</td> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>13,300人</td> <td>人口</td> <td>12,670人</td> </tr> <tr> <td>世帯数</td> <td>3,814世帯</td> <td>世帯数</td> <td>4,143世帯</td> </tr> <tr> <td>農地面積</td> <td>614ha</td> <td>農地面積</td> <td>501ha</td> </tr> <tr> <td>事業所数</td> <td>605事務所</td> <td>事業所数</td> <td>514事業所</td> </tr> </table>				主要自治体指標（和気町）				着手前（平成2年）		完成後（平成12年）		人口	13,300人	人口	12,670人	世帯数	3,814世帯	世帯数	4,143世帯	農地面積	614ha	農地面積	501ha	事業所数	605事務所	事業所数	514事業所
主要自治体指標（和気町）																											
着手前（平成2年）		完成後（平成12年）																									
人口	13,300人	人口	12,670人																								
世帯数	3,814世帯	世帯数	4,143世帯																								
農地面積	614ha	農地面積	501ha																								
事業所数	605事務所	事業所数	514事業所																								
今後の事後評価の必要性																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>完成後これまでに計画規模相当の洪水は発生していないが、施設完了後235m<sup>3</sup>/s【速報値】(H15.8.8)の洪水が発生した際には、計画どおり堰が倒伏するなど所定の機能を発揮しており、計画規模の洪水が発生した場合にも効果は十分発揮されると想定されるため、今後の事後評価の必要性はないと考えている。</li> </ul>																											
改善措置の必要性																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>から の視点による事後評価から、改善措置の必要性はないと考えている。</li> </ul>																											
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性																											

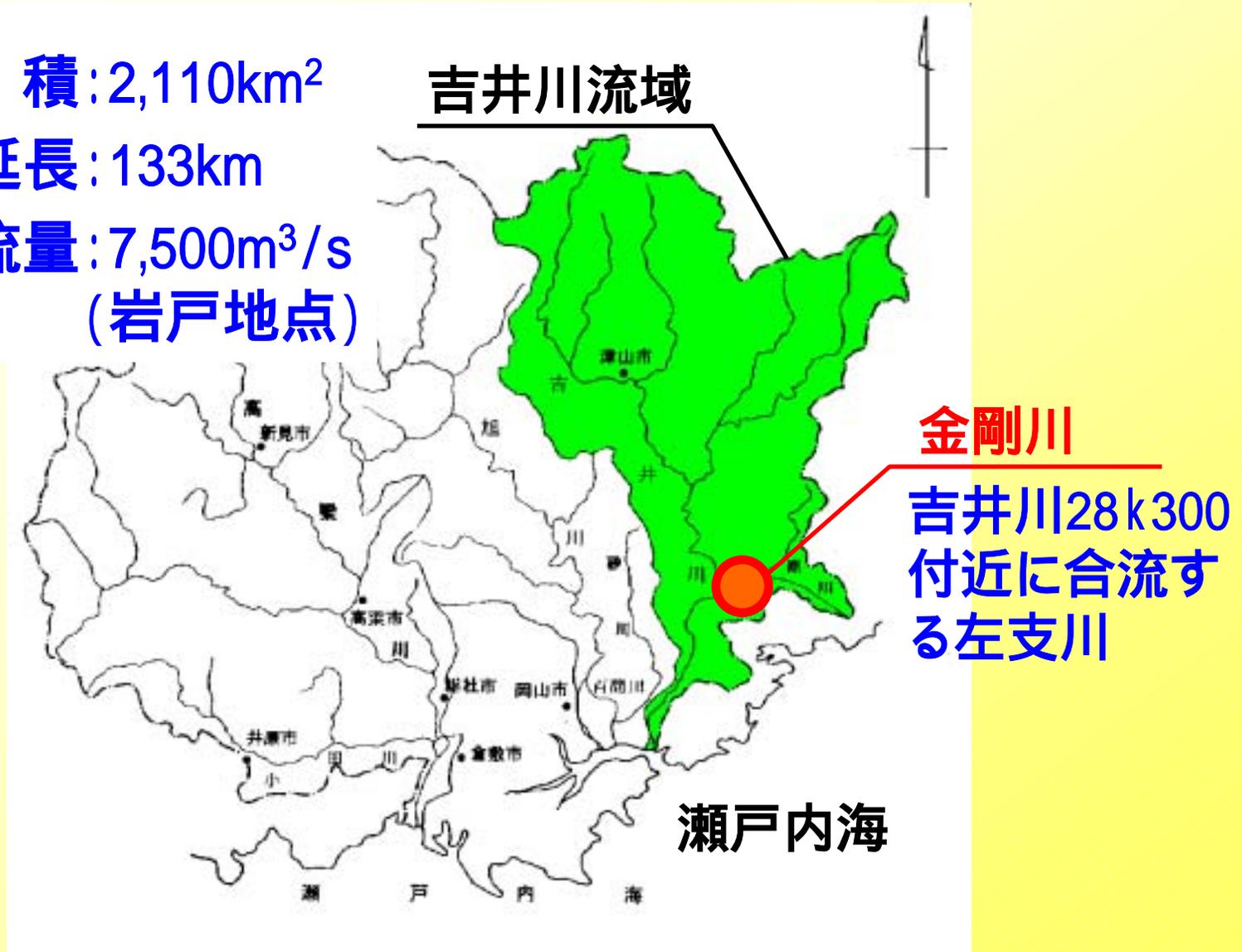
# 吉井川特定構造物改築事業 (大田原堰)



平成16年1月9日  
中国地方整備局

# 吉井川(金剛川)の概要

流域面積:2,110km<sup>2</sup>  
幹川流路延長:133km  
計画高水流量:7,500m<sup>3</sup>/s  
(岩戸地点)

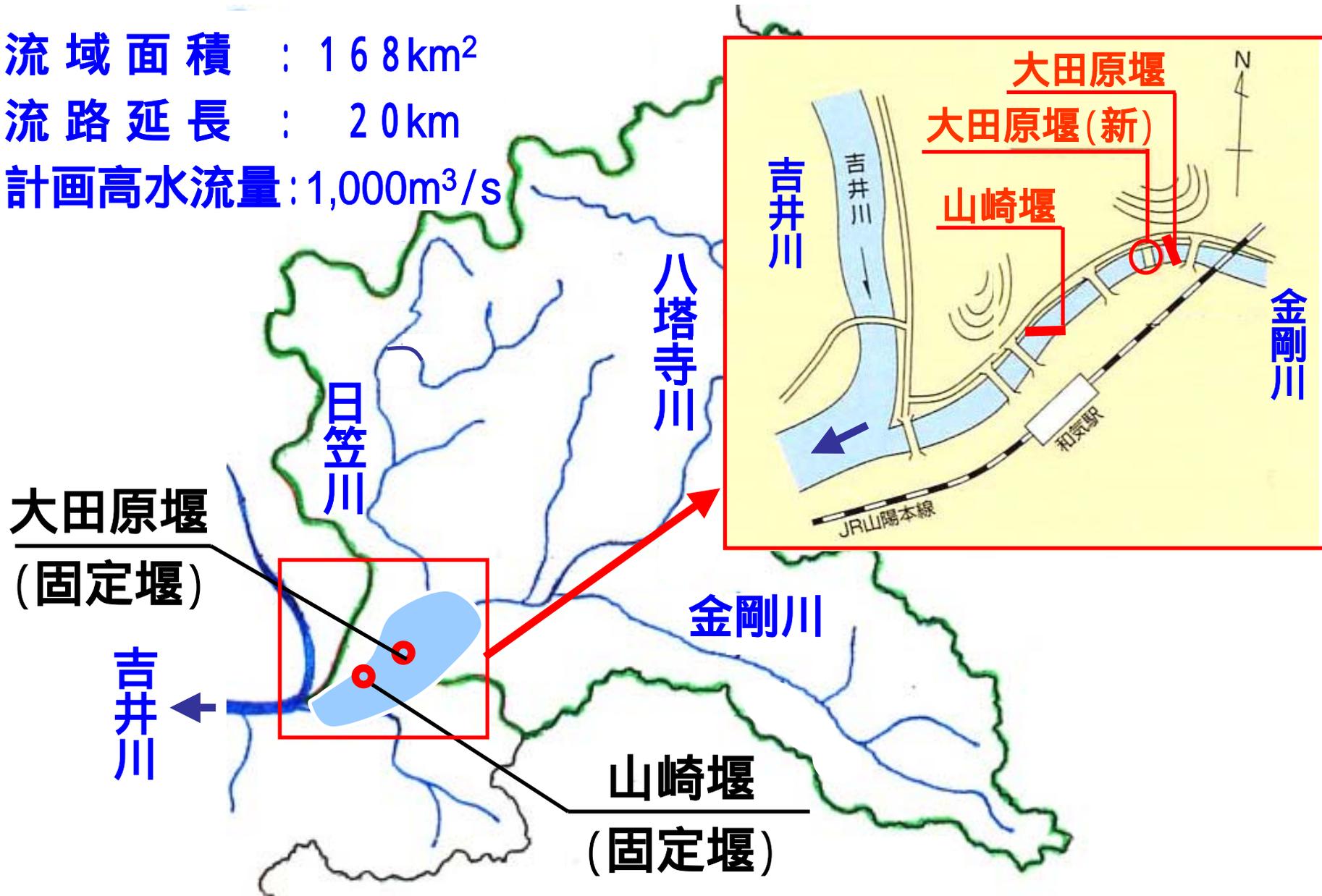


# 金剛川の概要

流域面積 : 168km<sup>2</sup>

流路延長 : 20km

計画高水流量 : 1,000m<sup>3</sup>/s

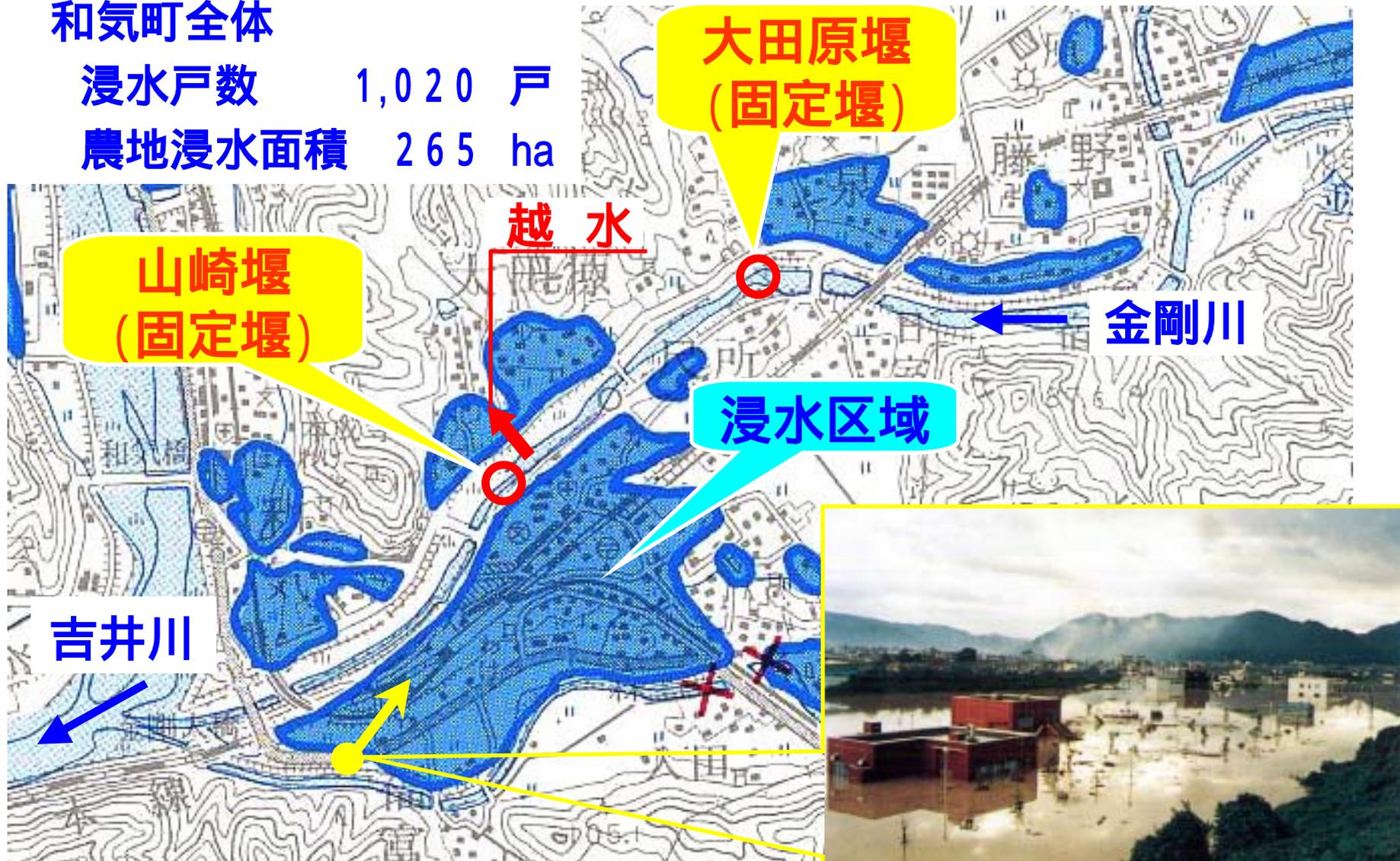


# 平成2年9月洪水による浸水被害

和気町全体

浸水戸数 1,020 戸

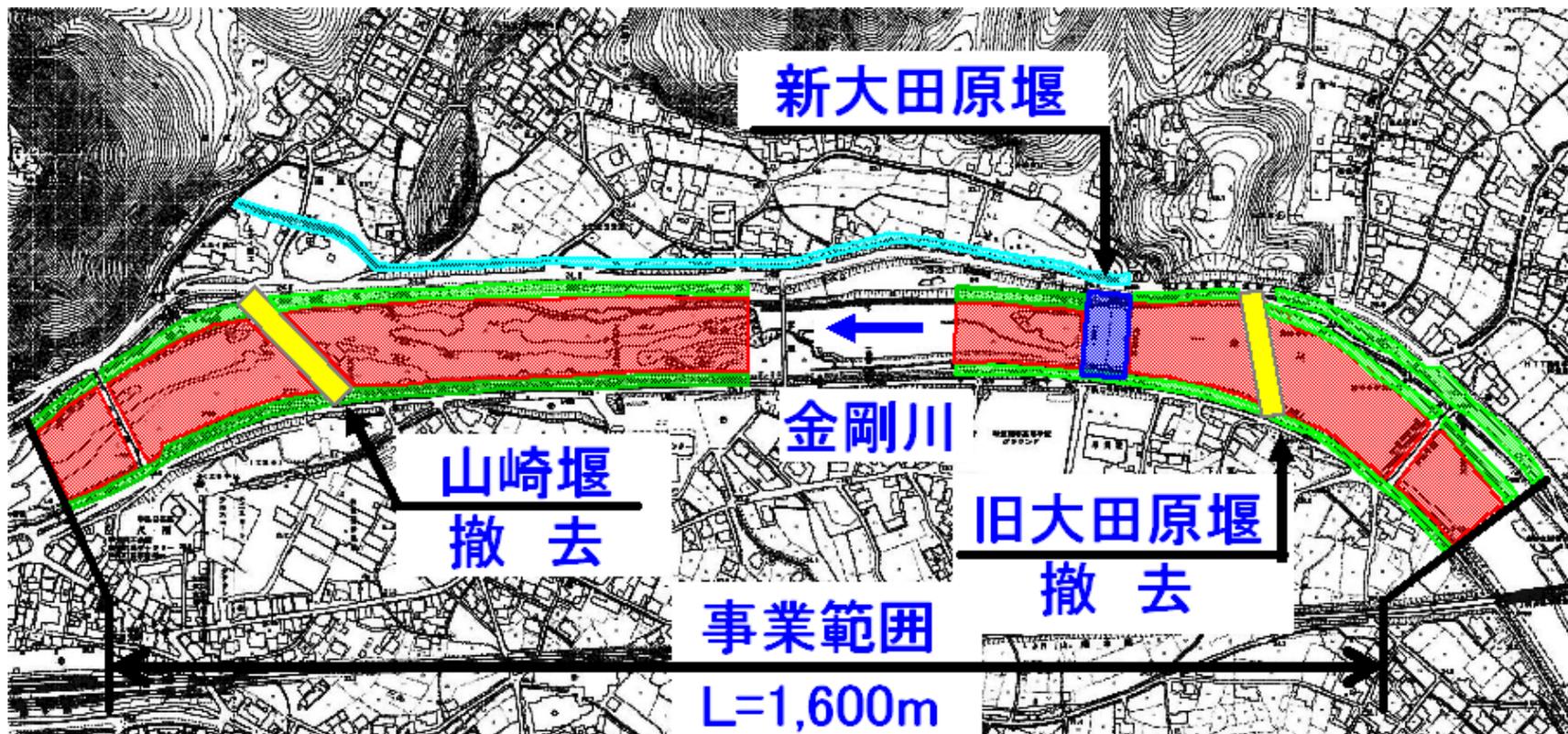
農地浸水面積 265 ha



# 特定構造物改築事業(大田原堰)の概要

事業期間	平成5年度～平成10年度
計画高水流量	1,000 m <sup>3</sup> /s
延長	L = 1,600 m
事業内容	ゴム引布製起伏堰一式、 旧堰撤去2堰、掘削112.5千m <sup>3</sup> 、 護岸6.4千m <sup>2</sup> 、水路工1.16km、 樋門2ヶ所、用地2,776m <sup>2</sup>
事業費	29.76 億円

# 平面計画図



1k000

- : 護岸工
- : 旧堰撤去
- : 河床掘削
- : 水路

2k600